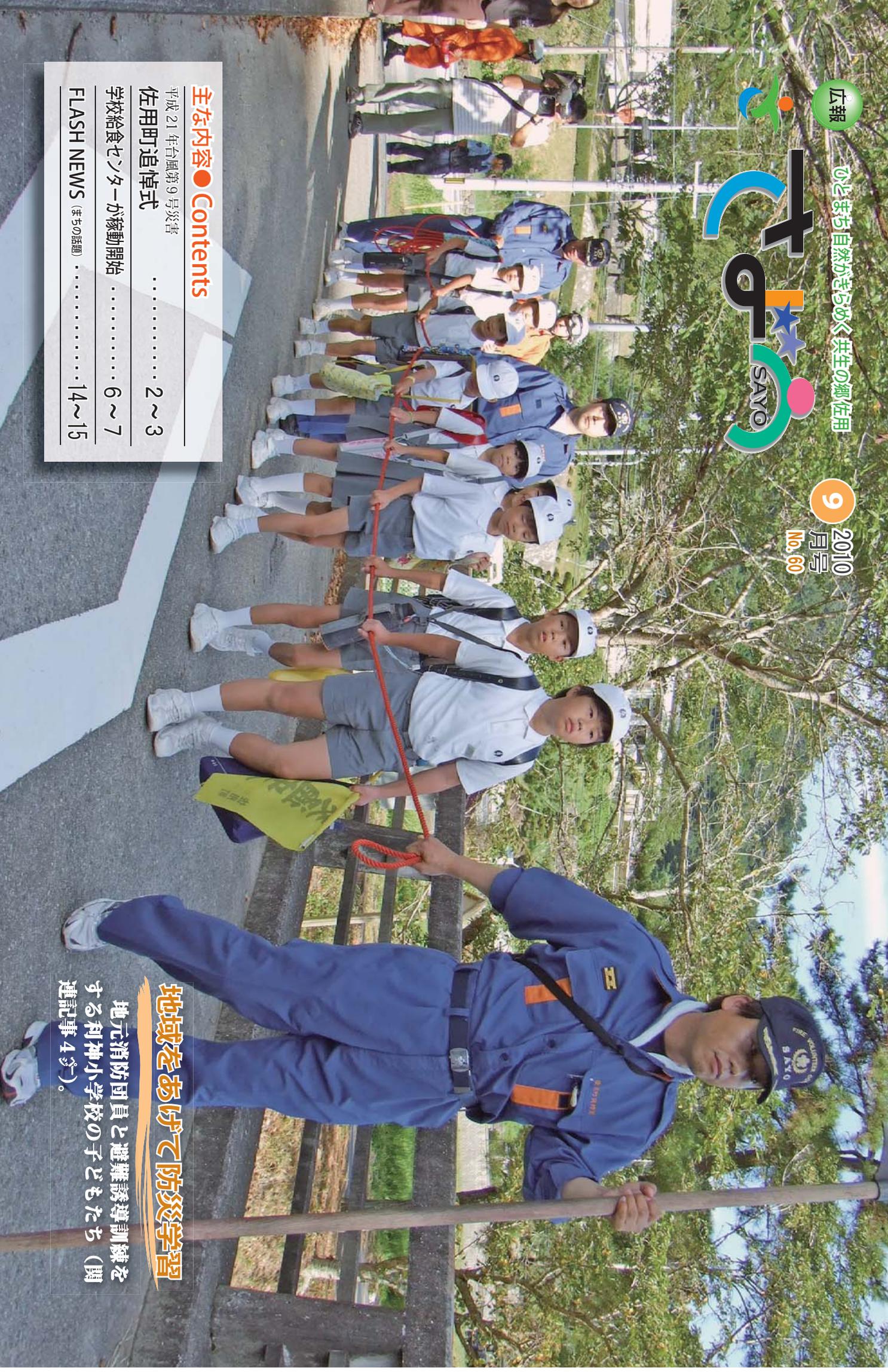


広報

ひとまち自然がきらめく共生の郷佐用



9 2010
月号
No.60



主な内容 ● Contents

平成 21 年台風第 9 号災害

佐用町追悼式 2 ~ 3

学校給食センターが稼動開始 6 ~ 7

FLASH NEWS (まちの話題) 14 ~ 15

地域をあげて防災学習

地元消防団員と避難誘導訓練をする利神小学校の子どもたち (関連記事 4ページ)。

平成21年
台風第9号災害
佐用町追悼式

悲しみを胸に 災害に強いまちづくりを誓う

自分たちで作った折り鶴を捧げる
町子ども会の児童たち

昨年の水害から一年を迎えた8月9日、さよう文化情報センターで「平成21年台風第9号災害佐用町追悼式」がとり行われました。

ご遺族・行方不明者のご家族63人をお迎えし、参列者約350人の皆さんが、昨年の災害で亡くなられた18人のご冥福をお祈りするとともに、行方不明のお二人が早く見つかること、そして「真に災害に強いまちづくりを進めることを誓いました。

まず、犠牲者名簿が慰霊塔の前で開帳され、その後参列者の芳名帳が、町自治会連合会副会長の梶原義正さんの手で捧げられました。

そして参列者全員で黙とうの後、庵迺典章町長と矢内作夫町議会議長が追悼の辞を述べ、井戸敏三兵庫県知事、赤松正雄衆議院議員、山口壮衆議院議員、末松信介参議院議員から、それぞれお言葉をいただきました。

その後、参列者全員で順次白菊の献花が行われ、亡くなられた18人に対し、心からご冥福をお祈りしました。

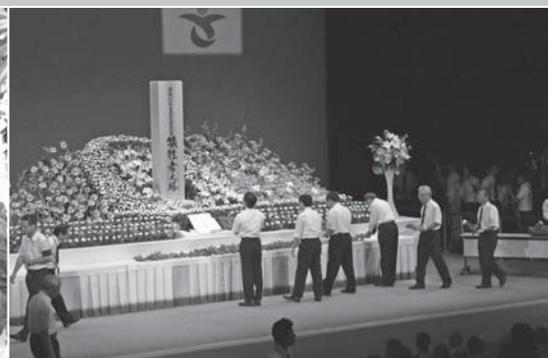
最後には、町子ども会連絡協議会の児童たちと保護者30人、こどもボランティアア武庫川の皆さん8人、神戸市立湊川中学校の先生1人が、それぞれで作成した折鶴、計約1万5、500羽を捧げました。



芳名帳を捧げる梶原義正町自治会連合会副会長



追悼の辞を述べる井戸敏三兵庫県知事



献花を行う参列者の皆さん

佐用町の歴史上、決して消えることのない昨年8月9日の豪雨災害から一年が経過しました。

本日、ここに平成21年台風第9号災害によって尊い命を失われたかたがたのご遺族、いまだ行方不明となつておられるかたのご家族をお迎えし、兵庫県知事

井戸敏三様、兵庫県議会議長山本敏信様、衆議院議員赤松正雄様、山口壮様、参議院議員末松信介様をはじめ、町内の各種団体のご代表など多数のご参列のもと、佐用町追悼式をとり行うにあたり、二万町民を代表して、御霊の安らかなら

んことを衷心よりお祈り申し上げます、あわせて行方不明となつておられるお二人が一日も早く見つかることを念願いたします。

昨年の今日、熱帯低気圧及びびそれから変わった台風周辺の湿った空気の影響を受け、最大一時間雨量89ミ、日雨量326.5ミという猛烈な雨がこの地域を直撃

しました。

この豪雨によって、町内のいたるところで山が崩れ、倒木が流出し、河川がはらんし、18名もの多くの尊い命が失われ、またいまだ2名のかたの行方がわからなくなつたままでございます。

町内では1、700戸以上の家屋の損壊、河川・道路・農地・農業用施設の損壊や農産物の被害など甚大な被害を受ける、想像を絶する未曾有の大惨事となりました。

予測をはるかに超えた記録的な豪雨であったとはいえ、町の初動対応が不十分でありましたこと、町長として亡くなられたかたがた、ご遺族の皆様、被災された多くのかたがたに心からお詫び申し上げます。

このたびの災害では、国・県・各市町、ボランティアなど多くの皆様のご支援やご尽力をいただき、ようやく町の復旧・復興の光が見えてきたところでございます。

本年の3月には総延長約

55キロに及ぶ大規模の河川改修などの「生活基盤の再生」、地域の絆で進める「災害に強いまちづくり」、地域がきらめきにぎわいを創出する「地域の活力向上」を目標とした佐用町災害復興計画を策定いたしました。また、1月に設置しました佐用町台風第9号災害検証委員会におきましては、ご遺族の皆様や被災されたかたからの聴き取りや現地調査、各分野における検証をいただき、町の防災力を高め、今後の防災対策の充実強化を図るための90項目の提言をいただきました。

あの日から一年が経過し、尊い命を失われたご本人はもとより、そのご遺族や行方不明のかたのご家族のご無念が消え、そのお悲しみを癒すものは無かろうかと存じます。今後、災害で二度と尊い命を失うことがないよう、皆様の思いを胸に、いかなる困難があろうとも、災害検証委員会

からご提言いただいた項目

の一つひとつを真摯に受け止め、全職員と共有し、町民の皆様のご理解とご協力を得ながら「絆からはじまるふるさとの復興」を旗印に、地域防災力の向上と防災対策の充実強化を図り、必ずや未来を切り開く復興を成し遂げるため全力を挙げて取り組んでいるところでございます。皆様かたの、今後より一層のご支援、ご尽力を重ねてお願い申し上げます。

本日の追悼式に際し、ご参列の皆様による献花と合わせて、「こどもボランティア武庫川」の皆さん、「神戸市立湊川中学校」の皆さん、そして町内の「子ども会」の皆さんに折り鶴を献納いただきます。心から感謝申し上げます。

本日ご参列いただきました皆様と共に、尊い命を失われたかたがたに哀悼の誠を捧げ、また行方不明のかたが一日も早く見つかることを願い、町民の皆様と一丸となつてかけがえの無い命を守る、災害に強く安全で安心して暮らせる佐用町を実現するため、精進まい進することを、この塔の御前にお誓い申し上げます。

追悼のことばとさせていただきます。

平成22年8月9日

佐用町長 庵途 典章

追悼の辞を述べる庵途町長



追悼の辞を述べる庵途町長

一人ひとりの意識向上が 防災体制強化の第一歩

利神小学校区（長谷・平福・石井・海内地域）の地域住民の皆さんを対象とした防災学習会が、8月8日、同小学校主催で行われ、約250人が参加しました。

この学習会は、消防署や警察署、宍粟防災センター、同校区の各地域づくり協議会、日赤奉仕団、

消防団の協力のもと、地域に住む人たちの力で災害発生時に冷静で的確な判断と行動が取れるようにと、同小学校の夏休み期間中の登校日に合わせて行われたものです。

まず最初に、同小学校の児童たちと地元消防団員の皆さんが避難誘導訓練（表紙写真）を行った

後、スマトラ沖地震で青年海外協力隊員として活躍した中西美樹さんの講演会が行われました。

その後は協力団体の各ブースで、非常持ち出し袋や応急手当、救助法などの説明を聞いたり、非常食を試食したりしながら、防災意識を高めていきました。



兵庫県警の警察官から、災害時に使う様々なグッズの説明を受ける参加者の皆さん



宍粟防災センターの職員から非常持出袋について学ぶ子どもたち

児童たちの登校時にあわせ、避難誘導が行われました。訓練の前に説明を受ける消防団員と児童たち



「いち、に、いち、に」。掛け声と歩調を合わせて急流を確実に歩く歩行訓練のようす



河川敷で
救助訓練

水難救助訓練実施

水害を風化させず水防活動を強化

消防署では、昨年8月の水害から一年を控えた7月28日、消防署員35人が参加して水難救助訓練を、山脇の河川敷で実施しました。この訓練は、昨年の水害からの教訓を風化させることなく、今後の水防活動を強化することを大きな目的として行われました。

まず、河川の水位が急激に上昇し、中州に人が取り残されたとの設定で、河川の両岸に張ったロープを伝って、中州に取り残された人を迅速に川岸まで救出する訓練が行われました。次に、4〜5人で急流を歩く訓練なども行い、署員は掛け声と歩調を合わせ、真

剣に取り組みました。最後は、兵庫県の防災航空隊と合同で、河川敷で救助を求める人を救出する訓練を行い、防災ヘリコプターとの連携など、一連の活動を確認しました。今後も様々なケースの訓練を重ね、安全・安心のま

ちづくりに努めます。



神戸からわずか20分で到着した防災ヘリコプターを使っての救出訓練。ヘリコプターが吹き降ろす強烈な風の中で、的確・迅速に、救助を要する人をヘリコプターまで救出しました



2学期から 学校給食調理開始

小中学校の給食はこれまで、3つのセンターと3つの単独調理場で調理していました。しかし、老朽化が進み新しい給食施設が懸案になっていました。

そこで1か所で給食を調理し、各学校へ配送する方式を採用し、昨年9月から東徳久地区に「佐用町学校給食センター」の建設に着手しました。

そして、7月末にすべての工事が完了。8月4日に竣工し、2学期が始まる9月から稼働しています。

安全・安心の 給食提供のために

センターは鉄骨平屋建てで、延床面積は1,224平方メートル。総事業費は約5億3千万円。国の交付金と合併特例債を財源にあて、町の負担は約190万円に抑えました。

そして基本的な考えを「環境への配慮」と「コスト低減」として、このセンターには次のような特徴があります。

オール電化でコスト低減

経費低減のため、オール電化方式を採用しています。燃焼の

コスト低減・地産地消を推進

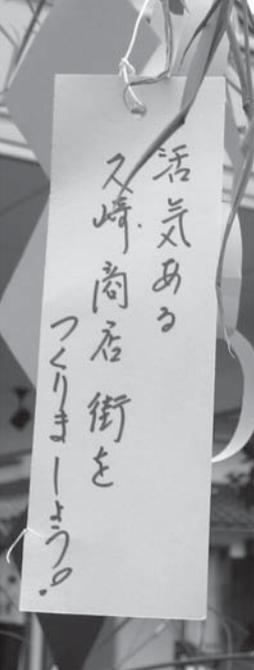


(写真右上) 給食センター外観

(写真右下) 最新の設備が整ったセンター内。揚げ物・焼き物などを調理する部屋、ご飯を炊く部屋、和え物を作る部屋など、用途によって部屋が細分化され、効率化が図られています。写真は調理室

(写真左上) 壁のモニター4台やガラス越しに給食づくりが見学できる多目的室。





久崎地域の 復興拠点完成

子育てほっとステーション久崎

昨年の水害で廃業した久崎地域の空き店舗が、8月1日「子育てほっとステーション久崎」として再オープンしました。

この改修工事は、商店街などの空き店舗を活用して、親子がくつろげる場所などを創出する県の「子育てほっとステーション設置」事業の補助を受けて実施されたもの。今後は、同地域の商店約20店舗で組織した「久崎商店会」が、子育てステーションのみにとどまらず、地域の交流の場として運営にあたります。

この日は、同ステーションの運営を手伝う大阪大学や関西学院大学の学生たちや地域の人たちが集まり、復興への願いを込めた短冊を書いたり、学生の皆さんと釣りゲームを行ったりして楽しみました。

なお、佐用商店街でも「空き缶でもうけてもええ会」が、同様の目的で空き店舗の改修を進めています。



オープンにあたりあいさつをする久崎商店会の井口覚会長（右）と店舗所有者の黒田君代さん（左）

少ない電化設備機器によって、二酸化炭素排出量の削減が期待できます。

徹底した衛生管理
施設内を清潔区域、非清潔区域に分け、動線（人が動く経路）を完全分離しています。

循環型社会の実践をめざす
残飯などを肥料化する生ごみ処理機を設置し、野菜納入生産者へ肥料として還元しながら、循環型社会の形成に貢献します。

また太陽光発電で、省エネに努めるとともに、常に床が乾燥

した状態で使用する「フルドライシステム」を導入。細菌の繁殖を防ぎます。

「地産地消」と「食育」の推進
地元の野菜生産者の皆さんと連携し、「地産地消」を進め、農業振興を図ります。また給食づくりを見学できる「多目的室」や給食作りを確認できるモニターを設置し、「食育」の推進に役立てます。

その他、アレルギー調理室を設置し、安全で安心な学校給食の提供に努めます。

☎ 78・8100

町学校給食センターが稼働開始

環境配慮



配送車のコンテナ部分には、町内の小学生から募集した愛称とイラストが貼り付けられ、子どもたちに親しまれています。配送車は計4台あります

全国高校野球
兵庫大会
16強入り

佐用高校野球部創部以来の快挙

水害乗り越えチーム一丸に



佐用町に勇気と希望を届けてくれた佐用高校野球部の皆さん

昨年の水害で 大きく成長

第92回全国高校野球選手権兵庫大会が、7月10日に開幕し、地元佐用高校野球部が大活躍し、町内を沸かせました。

初戦は7月16日、姫路球場での市立伊丹高校戦。打撃力が爆発し、8対1のワールド勝ちで初陣を飾りました。続く2戦目は、7月21日、明石球場での神戸第一高校との対戦。初回で3点を奪った佐用高校は、6回で同点に追いつかれましたが、7回で再び打線が奮起し、8対3の大差で勝利を収めました。

強豪が早々に敗退するなど波乱が多い中、昨年の水害を機に、結束力を高め勝ち進んだ佐用高校野球部。同部は昨年、秋季大会の練習を中止し、被災者の復旧支援活動に汗を流してきました。それが部員一人ひとりを大きく成長させました。

続く3戦目は、7月24日、高砂球場での川西緑台高校と

の対戦。4対3で接戦を制し、初の16強に勝ち進みました。

球場に響いた 「感謝の声援」

7月25日、8強をめざして迎えた4戦目、姫路球場での伊丹西高校との対戦。この日、球場には町内から約600人が応援に駆けつけ、スタンドは熱気に包まれました。佐用高校は粘り強い試合を展開しましたが、4対12で惜敗しました。しかし町内から集まった応援団の皆さんから、被災地を勇気づけた球児たちへ感謝の声援が球場に響き、チームの健闘ぶりを心から称えていました。

なお、佐用高校は県高野連から応援優秀賞を受賞。また8月7日、甲子園球場で開催した全国高校野球選手権大会で、主将の西田直くんが入場行進の先導として出場しました。「胸を張って歩きたい」。事前の記者会見で話したように、堂々と入場し、町民の皆さんを勇気づけました。

入賞しガッツポーズの小林くん。はちまきには陸上部員のメッセージが寄せられています



近畿中学総体で8位

小林和弥くん（上月中）

上月中学校3年の小林和弥くんが、8月9日に和歌山県の紀三伊寺陸上競技場で行われた近畿中学総体に出場しました。

小林くんは、昨年の水害で部活動が活動停止になったときも、町内や岡山県の祖母宅周辺で、自主練習を重ねてきました。

そして、7月27日・28日に、加古川運動公園で開催された県中学総体で、1,500対と3,000対に出場。「ゴール直前が勝負だと思っていた」と話す小林くんは、1,500対で、

期間は

9月21日(火)～30日(木)

恒例の秋の全国交通安全運動が、9月21日から30日まで実施されます。

交通事故で亡くなるかたのうち、約半数が高齢者。「高齢者の交通事故防止」を運動の基本に、次の重点項目に取り組みます。

■運動重点

- (1) 夕暮れどきと夜間の歩行中・自転車乗用中の交通事故防止（特に夜光反射材などの着用の推進）
- (2) すべての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
- (3) 飲酒運転の根絶
- (4) 夕暮れどきの早めのライト点灯の推進

■企画防災課

まちづくり防災室
☎82-0664

秋の全国交通安全運動

●高齢者の交通事故防止

応援ボード前でガッツポーズの小深田さん（右）と寺本くん（左）



スイミングスクール初の全国大会出場

町民プール

小深田有咲さんと寺本賢斗くん

町民プールあめんぼのスイミングスクールに通う小深田有咲さん（下町）と、寺本賢斗くん（上長尾）が、8月7日から8日に浜松市の総合水泳場で行われた全国少年少女水泳競技大会（とびうお杯）に、同スクールから初の出場を果たしました。

とびうお杯は、過去にオリンピック金メダリストの北島康介さんや岩崎恭子さんも出場した大きな大会。この日も全国から子どもたち約1,330人が集まり、日ごろの練習の成果を競い合いました。

小深田さんは50㍍・100㍍の自由形と50㍍の平泳ぎの3種目に、寺本くんは50㍍平泳ぎに出場。スイミングスクールで指導にあたる水谷亮介コーチは、出場を間近に控えた2人に「週5回、練習はしっかりできている。後はその力を発揮してほしい」とエールを送りました。そのエールに小深田さんは「自分の目標タイムが出せるように、精一杯頑張ります」と、また寺本くんは「普段の練習の成果を発揮したいです」とこたえ、大会当日、全国の子どもたちの前で、自分の持てる力を出し切りました。

ゴール直前にスパートをかけ、2人を抜き、見事1位でゴール。近畿中学総体への出場キップを手に入れました。

その後、近畿中学総体で1,500㍍に出場した小林くん。近畿各府県から勝ち抜いた18人のランナーとともに出場し、見事な力走で8位入賞を飾りました。

小林くんは「もう少し粘れば上位に食い込めました。この経験をバネに、今後の大会に向けて練習に励んでいきたい」と少しくやしさをにじませながらも、入賞を喜んでいました。

近畿大会終了後、すぐに次の大会に向け練習を始めた小林くん



Caution!

今年はツキノワグマが頻繁に集落周辺に出没しており、特に秋から初冬にかけては、冬眠前のツキノワグマが食料を求めて人家や納屋、果樹などにやって来る可能性が高くなります。クマを集落や農地に寄せ付けないよう、また、不意にクマに遭遇しないよう、特に次の点に注意しましょう。

今年は特に
気をつけよう

クマを近づけないためのポイント

1 POINT

ごみを屋外に置かない



ごみ(特に生ごみ入りのもの)はクマを誘引します。屋外に置かないようにしましょう。また、田畑への残飯まき、収穫しない野菜の放置もしないようにしましょう。

2 POINT

食料はクマに気づかれないところへ

匂いに敏感なクマが、屋外や納屋などにある食料に気づけば食べにくる恐れがあります。クマが気づかないよう、果物、穀物、ペットフードなどは厳重に保管してください。納屋・倉庫などの戸締りもしっかりとしましょう。

3 POINT

果実は早めに収穫を

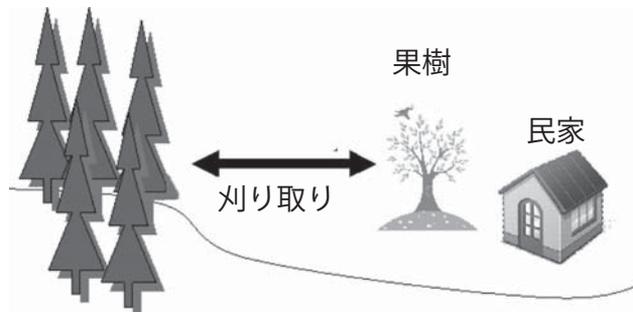


クマの好物である柿や栗は早めにもぎ取って処分しましょう。販売用などで必要な場合は、木の根元にトタンを巻くか、電気柵で周囲を囲むようにしましょう。

4 POINT

できるだけヤブや草むらを刈り取る

住居や通路周辺にクマがひそみやすいヤブや草むらがある場合は、できる限り刈り取って見通しをよくし、出会い頭の接触を防止しましょう。



■森林や、その付近に行くときは音の出るものを携行しましょう

森林や、その付近に出かけるとき、あるいは夜間に外出するときは、鈴やラジオなど音の出るものを身に付けましょう。特に雨の日や川沿いの場所では、人間の臭いや物音がクマに伝わりにくいため、大きな音を出して人間の存在を知らせましょう。

■人里でも夕方から朝までの外出は特に注意

クマは夕方から早朝の間に人里に出没する可能性が高くなります。この時間帯は、絶対に柿の木や栗の木の近くなどクマがいそうな所に近づかないでください。

■クマを目撃した場合は、農林振興課へご連絡をお願いします。

ツキノワグマの人身事故



第4回さようマラソン&ウォーク

ボランティアスタッフ

募集

さようマラソン&ウォークは佐用町の一大スポーツイベント。お手伝いいただくボランティアスタッフを募集します。

- 開催日 12月12日(日) 雨天決行
午前8時50分開会(スタッフ午前7時集合)
- 場所 三日月中学校グラウンドほか
- 内容 駐車場係、受付係、給水所係、交通整理係、放送係、その他
- 応募資格 佐用町、近隣市町在住・在職、在学の中中学生以上のかたで、スタッフ説明会に

参加できるかた(町体育指導委員会、体育協会などであらかじめスタッフ依頼しているかたを除く)。

- 申込方法 所定の申込書でお申し込みください。電話くだされば送付します。申込書は本庁、支所、出張所にあります。
- 応募締切 10月15日(金)まで

問 生涯学習課(上月体育館) ☎86-0441

9月下旬から
調査員が伺います

国勢調査を実施します

2010

国勢調査

平成22年10月1日

国勢調査は、日本に住むすべての人、世帯が対象です。9月下旬から、調査員が世帯を訪問して調査票を配布します。記入いただいた調査票は、封筒に入れて封をして調査員にお渡しください。

調査項目

- 世帯員(全員) 名前と男女の別・世帯主との続き柄・出生の年月・配偶者の有無・国籍・現在の場所に住んでいる期間・5年前の居住地・教育・9月24日から30日までの仕事・従業地または通学地・従業地または通学地までの利用交通手段・勤めか自営かの別・勤め先・業主などの名称と事業の内容・本人の仕事の内容
- 世帯について 世帯員の数・住居の種類・住宅の建て方・住宅の床面積の合計(延べ床面積)

問 企画防災課広報室 ☎82-0664

きずな う絆でしあわせを運ぼう



作詞・作曲者の臼井真さんの指揮のもと、「神戸」を「佐用」に、「地震」を「水害」に歌詞を一部変えた「しあわせ運べるように」を熱唱する皆さん。

「水害にも負けない強い心をもって

亡くなったかたがたのぶんも 毎日を大切に生きてゆこう

傷ついた佐用を元の姿にもどそう 支え合う心と明日への希望を胸に

響きわたればくたちの歌 生まれ変わる佐用のまちに

届けたいわたしたちの歌 しあわせ運べるように

水害にも負けない強い絆をつくり

亡くなったかたがたのぶんも 毎日を大切に生きてゆこう

傷ついた佐用を元の姿にもどそう やさしい春の光のような未来を夢み

響きわたればくたちの歌 生まれ変わる佐用のまちに

届けたいわたしたちの歌 しあわせ運べるように」

8月9日、ウエスト神姫佐用出張所跡地で、「空き缶でもうけてもええ会」主催の復興ステージ「しあわせ運べるように」が開催され、約200人の人たちにぎわいました。

このイベントは、昨年の水害からちょうど一年を迎える節目に、町民みんなで復興への決意を新たにするため、同会事務局長の千種和英さん（中町）が中心となって企画したものです。

まず最初に同会会長の盛岡敏明さん（栄町）が「佐用がこんな良い町になったと胸をはれるような地域づくりに励みたい」とあいさつ。そして、会場に集まった人たち全員で黙とうが捧げられた後、「ひかりのさと少年少女合唱団」とコーラスグループ「沙羅」「ピュア」の皆さん



花のように飾られた「シンサイミライノハナプロジェクト」が集めた復興メッセージ

復興ステージ開催

空き缶で
もうけても
ええ会

支えあ



「水害に負けない」「未来を築いていこう」



【写真最上】 黙とうを捧げる会場の皆さん

【写真中上】 楽しい司会で会場を盛り上げたオーケイの2人と本イベントを企画した千種和英さん（左）

【写真中下】 楽しいステージに目は釘づけ

【写真最下】 佐用町出身のアーティストとして活躍する「PROTOTYPERSfeatRHYMINGDEAD」の3人。左から江美大輔さん、松本正浩さん、宮本健吾さん。



んで、阪神淡路大震災をきっかけに作られた歌「しあわせ運べるように」の合唱が行われました。

指揮は、作詞・作曲者の白井真さん（神戸市）が行い、佐用町バージョンに一部歌詞を変えて披露されたこの歌は、会場に響き、聴く人の心を打ちました。

そして佐用町出身のアーティスト「PROTOTYPERSfeatRHYMINGDEAD」の若さあふれるステージのほか、会場内では「ホルモンうどん食わせ隊」のホルモン焼きうどんや、「商工会青年部」のしかロックケなどの販売が行われました。また、災害写真展や復興へのメッセージの展示なども行われ、会場は「水害に負けない」「自分たちの力で未来を築いこう」というムードに包まれていました。

平福の地域づくりの拠点完成

しゅんこう

竣工式でふれあい喫茶

平福地域づくり協議会がかねてから改築を進めていた同地域づくりセンター（地域福祉センター）が完成し、7月24日、関係者約40人が集まり竣工式を開催しました。この改築は県の補助事業を使って約700万円で行われたもの。玄関ホールを会議室で使用できるようにしたり、活動内容を写真展示できる設備を整えたりするなどの改修が施されました。

式典では同協議会会長の眞島太司さん（北新町）が「多くの関係者に感謝します」とあいさつ。式典終了後は、ふれあい喫茶が催され、交流を深めていました。



改修後のセンターでふれあい喫茶を楽しむ地域の皆さん

「憩える場」再認識

「千種川ネットワーク」がまつり

7月31日、久崎地域の千種川で恒例の「高瀬舟まつり」が開催され、地域の子どもたち約80人が参加しました。

この催しは同地域のまちおこしグループ「千種川ネットワーク【会長：福井泰彦さん(家内)】」が毎年開いているもの。昨年のの豪雨で川がはんらんし、大きな被害が出た同地域ですが「川は憩える場であることも知ってほしい」と開催に踏み切りました。

参加した子どもたちは、チチコ※釣りを楽しんだ後、高瀬舟で千種川を遊覧し、楽しいひとときをすごしていました。

※カワヨシノボリのこと。町内ではトチンコなどと呼ぶ地域もあります。



「ほら、チチコがつれたよ」

科学の「芽」育って

理化学研究所とコラボレーション

三日月地域づくり協議会主催の科学実験教室が、8月4日、三日月文化センターで開催され、町内の小・中学生10人が参加しました。

この催しは、小・中学生を対象に、夏休みの自由研究のテーマとして実験をすることで、科学のおもしろさやすばらしさを知ってもらおうと、同協議会と理化学研究所播磨研究所とのコラボレーションで開催されたものです。

参加した子どもたちは、光の散乱と分散の実験、空き缶やペットボトルを使った真空の実験のほか、真空による音の減衰などを体験しました。



「わくわく、ドキドキ」。実験で何が起こるか楽しみな子どもたち

(写真上) あさぎり賞の
伝達の様子
(写真下) 作文を披露し
た3人。左から金澤蓮
くん、宮田知佳さん、
長井美菜子さん



明るいまちづくりのために

町民の集いを開催

7月28日、さよう文化情報センターで第60回となる「犯罪のない明るいまちづくり町民の集い」が開催されました。式典では安全・安心な地域づくりに尽力された佐用警察署の井上路朗さんにあさぎり賞が贈られました。その後、久崎小の金澤蓮くん、上月中の宮田知佳さん、佐用高校の長井美菜子さんから、地域のきずなの大切さなどを題材にした作文発表が行われました。

その後、縦笛の魔術師の梶谷正治さんの「音楽力で人生を心豊かに」と題した楽しい講演が行われました。

キャンプファイヤー初体験

三日月保育園年長児キャンプ

8月7日と8日にかけて、三日月保育園年長児22人を対象とした年長児キャンプが、けんこうの里三日月で開催されました。この催しは、親元を離れる中で、園児たちの協調性と自立心を伸ばすため、毎年同園の保護者会が中心となって行っているものです。

園児たちは、お互いに協力しながら夕食のカレーライスを作ったり、キャンプファイヤーを楽しんだり、忘れることのできない思い出を作ることができました。

保護者会長の桑田隆男さん(田此)は「園児たちの楽しそうな笑顔を見ることができた。良い思い出となれば」と話していました。



カレーライスに入れる具材を調理する園児たち

「いなかのえんげ」味わう

大阪大学留学生がホームステイ

大阪大学の留学生10人が、8月19日から22日まで、町内の家庭で過ごす「いなかのえんげ」が行われました。

この催しは町国際交流協会の恒例行事。19日は笹ヶ丘荘で、ホストファミリーとの顔合わせ。食事を楽しみながら、お互いの緊張をほぐしました。また21日は幕山地区センターで「ゆかたパーティー」が行われ、そうめん流しやゲームなどを通じ、交流を深めました。

4日間の短いホームステイでしたが、留学生たちは、本当の家族の一員となってお互いに心を通わせ、佐用町でのいなか暮らしを楽しんでいました。



食事をしながら交流を深める留学生とホストファミリーの皆さん

「あたしやあ この日が待ち遠しくて」

佐用町敬老会

町では、長年にわたり社会貢献されてきた高齢者の皆さんに敬意と感謝の意を表するため、「佐用町敬老会」を開催します。昨年は地域の皆さんによって敬老事業を取り組んでいただきましたが、今年には町主催で開催します。集合時間、場所などは自治会長さんを通じてご案内いたします。ぜひ、ご参加ください。



●開催日

月 日	午前の部	午後の部
9月18日(土)	平福・石井・江川地域	佐用・長谷地域
19日(日)	上月地域	南光地域
20日(祝)	三日月地域	

●会場 (式典) さよう文化情報センター ホール
(昼食) 佐用勤労者体育センター

●対象者 昭和11年4月1日以前に生まれたかた

●内容 式典と演芸 (大衆演劇とバラエティショー)

●日程

午 前 の 部	時 間	内 容
	8:30~9:20	各対象集落バス送迎
	9:40~10:30	式 典
	10:40~12:10	お楽しみ演芸会
	12:30~13:30	昼 食
	13:40~	バス送迎出発

午 後 の 部	時 間	内 容
	10:30~11:20	各対象集落バス送迎
	11:20~12:20	昼 食
	12:40~13:30	式 典
	13:40~15:10	お楽しみ演芸会
	15:20~	バス送迎出発

問 健康福祉課社会福祉推進室 ☎82-0661

Windows ビスタ・セブン 入門・初級講座 受講生募集

Windows ビスタまたはセブン搭載のパソコンをご持参ください。

【入門講座 (ビスタ・セブン) : マウス操作など】

■開催日

10月7日(木)、12日(火)、14日(木)

■申込期限 9月24日(金)

【初級講座 (ビスタ・セブン) : 簡単な文書作成】

■開催日

10月19日(火)、21日(木)、26日(火)

■申込期限 10月5日(火)

★コース共通

■開催時間 午後7時30分から2時間

■開催場所 上月文化会館

■受講料 1,500円

■募集人数 各20人



■申し込み・お問い合わせ
上月支所地域振興室
☎86-1210

入場
無料

テーマは ^{きずな} 絆

がんばろう佐用 復興支援コンサート

日時

9月19日(日)

開演 午後1時~

場所

久崎小学校体育館

出演

フォーク ひとつ山こえてみよう会

クラシック ゆかこ弦楽四重奏団

J A Z Z メガ・トーンジャズオーケストラ

問

がんばろう佐用復興支援コンサート
実行委員会 代表 木戸口敏幸さん
☎090(2042)3636

JAZZ & CLASSICAL & FOLK

救命士からの

ワンポイントアドバイス

効果的な水分補給

水分のバランス

私たちの体の約60%は水分です。水分は栄養分の運搬、体温調節など、大切な働きをしています。汗などで失った水分は、こまめに補給する必要があります。

間違った水分の取り方

■ジュースや甘いものばかり飲む

糖分の取りすぎで夏バテの原因

■ペットボトルで一気飲み

胃液が薄まるなど、胃の働きが悪くなる

■朝は時間がないから飲まない

寝ている間の汗で水分不足になる

■夜中のトイレがいやで水分を取らない

寝る前の水は、血液ドロドロの防止

■お風呂上がりはビールを

お酒の利尿作用で水分補給にならない

■スポーツなどに夢中で水分を取るのを忘れる

大量の汗をかいて水分を補給しないのは危険

水分補給のしかた

■のどが乾いたと感じたときに水分補給

■飲むものは水でもお茶でもOK。少量ずつこまめに

■朝、寝る前、風呂の前後に水分を

■あまり冷やしすぎない。5～15度くらいで

■運動時に水を飲むタイミングと量

運動30分ぐらい前に250～500cc程度を数回に分け、運動中は20分～30分ごとに200cc程度を、運動後は減った体重分を数回に分けて飲む

■尿の色と量を確認。色が濃く、量が少ない時は補給を

水分を十分にとることは、脱水症状だけでなく、動脈硬化・尿路結石・疲労・便秘など色々な体の不調を防ぐことにつながります。

問 消防署 ☎ 82-3872

●クリーンセンターからお知らせ

ふとん・タンスも収集
粗大ごみ収集

秋の粗大ごみ収集が、10月から始まります。

「粗大ごみ」を出す場所は、通常のごみ集積場所とちがいで、各自治会で決められた場所となりますので、お間違えないようご注意ください。



収集品目や日程などくわしいことは、別に配布する「粗大ごみの収集について」のチラシをご覧ください。

20日・23日の祝日は
通常業務

直接搬入は、月～金曜の午前9時から午後4時30分までで、祝祭日も受付を行っていますのでご利用ください。収集も通常どおり行います。
問 佐用クリーンセンター
☎ 82・0293

予約制

姫路年金事務所

出張年金相談会

■日時 10月14日(木) 午前10時30分～午後4時

■場所 さよう文化情報センター

■定員 先着40人

■予約受付期間

9月15日(水)～10月13日(水)まで

※土日祝祭日を除く午前8時30分～午後5時30分まで

■当日の持参物

被保険者のかたは年金手帳、年金受給者のかたは年金証書、印かん

■ご注意 代理者のかたが来られる場合、書式は問いませんが、ご本人からの委任状と、委任されたかたの本人確認のできるもの(運転免許証など)が必要となります。

■予約・お問い合わせ

住民課年金・保険室 ☎ 82-0660

すべての町民の暮らしを応援します

としよかん



だより

佐用町立図書館

佐用郡佐用町佐用2585 TEL 82-0874 FAX 82-0313
 メールアドレス toshokan@town.sayo.lg.jp
 ホームページ http://www.toshokan.town.sayo.lg.jp

図書館からお願い

最近、図書館の利用カードを忘れてくるかたが多いようです。

図書館に来られるときは、必ずカードをお持ちください。

なお、当館のカードには有効期限はありませんが、住所や電話番号など変更があった場合や、すでにカードをなくされておられるかたは、必ずカウンターへ申し出てくださ

い。

おはなし会 (5歳以上)

- 日時 毎週日曜日
午後2時30分～午後3時
- 9月のおはなし
「あきがきた」
- 申し込み 不要

としよかんボランティア

- 「あそびせ隊」のおはなし会
- 日時 毎週土曜日
午後2時～午後2時30分

- 場所 図書館おはなしコーナー

- 対象 幼児・小学生
- 申し込み 不要

おはなし会・おりがみ教室の変更について

毎週日曜日に開催しているおはなし会(5歳以上と小学3年生以上)を、5歳以上のクラスのみに変更します。

なお、小学3年生以上のおはなし会を希望されるときは、カウンターへ

申し出てください。開催時間の変更はありません。

毎月のおりがみ教室は、季節ごとの開催(年4回)となります。

今年度は10月23日(土)、1月22日(土)の午後3時からです。

◆◆◆
お間違えのないように、気をつけてご来館ください。皆さんの参加をお待ちしております。

図書館カレンダー

9月 September 長月							10月 October 神無月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4	3	4	5	6	7	8	9
5	6	7	8	9	10	11	10	11	12	13	14	15	16
12	13	14	15	16	17	18	17	18	19	20	21	22	23
19	20	21	22	23	24	25	24	25	26	27	28	29	30
26	27	28	29	30			31						

※色文字の日は休館日です。開館時間は午前10時～午後6時



ママプラザだより 笑顔は最高のふれあい

7月27日の「親子セミナー」で、「親子体操&子育て講話」と題して、神戸松蔭女子学院大学教授の勝木洋子さんにご指導いただきました。



新聞紙遊びのようす

ファミリーセミナー

- 内容 木エクラフト
- 日時 10月2日(土)
午前10時～

- 場所 さよう子育て支援センター

- 講師 ものづくり工房「木た木つね」山下文彦さん
- 問い合わせ ママプラザ

- ママプラザ
 - ひまわりママプラザ
 - みかづきママプラザ
- ☎82・4108
☎86・1153
☎78・0264
☎79・3788

新着図書案内

2010.7.16 ~ 2010.8.13 受け入れ分の一部



●大人向けの本

- いま戦争と平和を語る 半藤一利/著 日本経済新聞出版社
- 絵で見る十字軍物語 塩野七生/著 新潮社
- 田中角栄の昭和 阪保正康/著 朝日新聞出版
- 未来改造のススメ 一脱「お金」時代の幸福論
岡田斗司夫・小飼 弾/共著 アスペクト
- 実践エンディングノート ー大切な人に遺す私の記録
尾上正幸/著 共同通信社
- 不況は人災です！ ーみんなで元気になる経済学・入門
松尾 匡/著 筑摩書房
- 消費税のカラクリ 齋藤貴男/著 講談社
- 幸せを届けるボランティア不幸を招くボランティア
田中 優/著 河出書房新社
- 子どもの「やる気」のコーチング
ーガミガミ言わなくても「自分からやる子」の育て方
菅原裕子/著 PHP 研究所
- 蝶も蛾もうつくしい ー虫屋なる日々
田川 研/著・挿絵 青土社
- 宮大工と歩く奈良の古寺 小川三夫/著 文芸春秋
- 手作りラー油&極うまレシピ 柳沢英子/著 河出書房新社

- イルカを食べちゃダメですか？ ー科学者の追い
込み漁体験記 関口雄祐/著 光文社
- M・C・エッシャー ーグラフィック
M・C・エッシャー/ [画] タッシェン・ジャパン
- くじけないで 柴田トヨ/著 飛鳥新社
- 昭和二十年夏、女たちの戦争 梯久美子/著 角川書店
- 乙女の密告 赤染晶子/著 新潮社
- やわらかな棘 朝比奈あすか/著 幻冬舎
- そのころ、白旗アパートでは 伊藤たかみ/著 講談社
- 原稿零枚日記 小川洋子/著 集英社
- ★祈る時はいつもひとり 上・下 白川道/著 幻冬舎
- ▲タナボタ！ 高嶋哲夫/著 幻冬舎
- アナザーフェイス 堂場瞬一/著 文芸春秋
- 先生のおさがお 南木佳士/著 文芸春秋
- 路地裏ビルディング 三羽省吾/著 文芸春秋
- 炎天の雪 上・下 諸田玲子/著 集英社
- 人間万事嘘ばかり 山田風太郎/著 筑摩書房
- 危険ないところ ナンシー・ワーリン/作 評論社

●子ども向けの本

- 赤米・黒米の絵本
いたにとみお/へん 農山漁村文化協会
- きみは怪物を見たか ー松井、松坂、斎藤、雄星
甲子園のヒーローたちの感動物語
中村 計/著 講談社
- くらやみ谷の魔物 (小さなスズナ姫)
富安陽子/作 偕成社

▲は図書館と上月図書室に、★は図書館と南光図書室に、■は図書館と三日月図書室にあります。

地域包括支援センター通信



高齢者の生活・介護の相談は 地域包括支援センターへ

高齢者のかたが日常生活で困っていることは様々です。

●一人暮らしなので今後が不安

●介護保険サービスや福祉サービスについて知りたい

●施設入所を考えたいが、費用はいくらで、どんな施設があるのか分からない

●将来、寝たきりや自分で判断ができなくなつたとき、どうするか
●近所にも忘れがひどくなつている人がいる。どこへ相談したら良いか

いる
●悪徳セールスにひっかかってしまった

地域包括支援センターは、このような相談の受付窓口となっております。また実際に高齢者宅へ伺い、心身・生活状況を把握する(高齢者実態把握)事業も行っています。

その結果、要介護認定や介護予防事業、消費者相談機関など、必要と思われる事業・機関につなげる役割も行ってまいります。お気軽にご利用ください。

●家族の中で孤立している。いじめられている。年金を取り上げられて

問 地域包括支援センター
(健康福祉課健康増進室)

☎ 87・8020

長年の健康増進活動が認められ

佐用町いずみ会から2人が受賞

第36回兵庫県いずみ会大会で、佐用町いずみ会あじさいグループ【代表：大永ふさ子さん（栄町）】が県知事表彰を、そして三日月グループ【代表：松尾壽子さん（西市）】が県いずみ会会長表彰を受賞しました。

県知事表彰は、10年以上積極的に健康増進活動を展開したグループに、また県いずみ会会長表彰は健康増進に成果をあげて、10年以上活動しているグループに贈られます。

お二人は「これからも食生活を通して地域の健康増進と食育活動に頑張ります」と受賞の喜びを話していました。

表彰状を手にする大永さん（左）と松尾さん（右）



子ども手当

申請は9月末までに

子ども手当は中学校修了までの子ども1人に月額1万3千円を親などに支給する制度です。支給対象となる子どもを養育されているかたで、手続きがまだのかたは、9月30日（木）までに申請をしてください。

なお公務員のかたは、勤務先での手続きとなります。

問 健康福祉課社会福祉推進室

☎82-0661

母子健康手帳の交付

母子健康手帳の交付は、上月保健福祉センターと子育て支援センターで行っています。お手数ですが保健師がいることを確認してからお越しください。

問 上月保健福祉センター

☎87-8020

問 さよう子育て支援センター

☎82-0341

食育だより

健康は家庭の食卓から

家庭は大切な食育の場。家族が食卓を囲みながら家族のコミュニケーションを図ることは、心身ともに健康で豊かな人間性をはぐくむ基礎となります。

しかし、家族で食卓を囲む機会が少なくなり、孤食や個食、朝食の欠食などの食習慣の乱れや生活習慣病の増加など、心身の健康にさまざまな問題が生じています。

心身の健康のために、まずは家庭でできる食育を実践していきましょう。

■朝食を食べて、一日を元気にスタートしましょう

朝食は一日を元気に過ごすための大切なエネルギー源。脳にエネルギーを補給し、体中のいろいろな機能を目覚めさせる役割をもっています。家族で「早寝早起き朝ごはん」を心がけましょう。

■楽しく食事をしましょう

家族や友人と食卓を囲み、楽しい雰囲気の中でおいしく食べることは「生きる力」を培うとともに、心を穏やかにし、豊かな人間性を育てます。食事中はテレビを消し、家族との会話を大事にしましょう。

■「いただきます」「ごちそうさま」のあいさつをしましょう

子どもの成長の段階に応じた手伝いなどの体験や「いただきます」「ごちそうさま」といった食事のあいさつは、食べ物を作る生産者、食事を作ってくれた人などへの感謝の気持ちをはぐくみ、思いやりの心も育てます。

子どもだけでなく大人もあいさつをする習慣をつけましょう。

行事カレンダー

■ デイ・ケア (精神障がい者社会復帰訓練事業)

9月14日 (火)

9月30日 (木)

午後1時30分～午後3時30分

■ こころのケア相談 (要予約)

9月9日 (木)

午後1時30分～午後4時

※場所は佐用町保健センター

問 健康福祉課健康増進室 ☎ 87-8020

■ こころのケア相談日 (要予約)

9月17日 (金)

午後1時～午後2時

■ 若者の心と体の相談 (要予約)

9月17日 (金)

午後1時～午後3時

※場所は龍野健康福祉事務所

問 龍野健康福祉事務所

☎ 0791 (63) 5142

赤ちゃん和妈妈の行事

★ 3歳児健診 (平成19年7月～平成19年8月生まれ)

9月15日 (水) 午後1時～

★ ヨチヨチ健康相談 (平成21年9月生まれ)

9月17日 (金) 午後1時30分～

★ 4か月児健診 (平成22年4・5月生まれ)

9月27日 (月) 午後1時30分～

★ すてきなママになるための教室 (妊婦)

10月4日 (月) 午前10時～

★ 0歳児クラス (2か月～1歳未満)

10月4日 (月)

2か月～6か月児 午前10時～午前11時30分

7か月～1歳未満児 午前10時30分～正午

★ ぱくぱく離乳食教室

(すすく健康相談後～1歳6か月未満)

10月7日 (木) 午前10時～

ぱくぱく離乳食教室は上月保健福祉センターで、その他はさよう子育て支援センターで開催します。

健康だより



大腸ガン検診をうけましょう

近年、日本では大腸ガンが増えています。その背景には、食生活の欧米化が深く関係していると考えられています。さらに初期には、自覚症状がほとんどないため、ガンが進行した状態で見つかることも多くなっています。

【症状】

自覚症状は「便の表面に血液や粘液が付く」「肛門に違和感がある」「便が出にくい、細くなった」「便秘と下痢を繰り返す」などです。しかし、これらの症状はガンがある程度大きくなると現れません。そのため、自覚症状がなくても定期的に検査を受けることが大切です。

【検査】

大腸ガンを早期に発見するために、まず行われるのが「便潜血検査」です。これは、町が行う特定健診などでも行っています。

便潜血検査は、便の中の血液の有無を調べ、目に見えないごくわずかな血液も感知することができます。大腸ガン患者の約6割がこの検査で発見できると言われており、早期発見に有効です。

検査結果が「陽性」であれば、精密検査を受ける必要があります。しかし精密検査を受ける人の割合は6割以下。もしガンであれば命に関わることもあるので、「陽性」の場合は必ず精密検査を受けてください。

【治療】

初期の大腸ガンであれば、「内視鏡治療」が可能です。これは開腹せずにガンを切除できるので、体への負担が大きくありません。大腸ガンは、40～50歳代から増え始め、60～70歳代で最も多くなります。50歳を過ぎたら、年に1回は、検査を受け、早期発見に努めましょう。

■ **申込期限** 9月13日(月)
 ■ **申し込み・お問い合わせ**
 健康福祉課社会福祉推進室
 ☎ 82-0661

道路交通センサスの お知らせ

9月～11月に、全国の自動車所有者から無作為に抽出したご家庭を対象に、調査員が訪問し、自動車利用状況などのアンケート調査を実施します。皆さまのご協力をお願いします。

問 **兵庫国道事務所**
 ☎ 078(334)1600

文化協会佐用支部主催 第18回観月の夕べ



お気軽にお越しください。参加無料です。

■ **日時** 9月22日(水)
 午後5時～ お茶席
 午後5時15分～
 短歌・俳句・邦楽演奏ほか
 ■ **場所** 佐用町生きがいつくりセンター

問 **生涯学習課** ☎ 82-3336

JOYX OPEN2010 小田孔明プロ 賞金の半額を佐用町に寄付

JOYXゴルフクラブ上月コースで、このほど開催された「JOYX OPEN 2010」は、多くのボランティアスタッフの参加のもと、盛大に開催されました。

なお、優勝した小田孔明プロから、優勝賞金(100万円)の半額を佐用町に寄付していただきました。

問 **商工観光課商工振興室**
 ☎ 82-0670

人のうごき

8月20日現在()内は前月比

人口 20,044人(△17)
 男 9,563人()4)
 女 10,481人(△21)
 世帯数 7,200戸()2)

8月中の移動
 出生 11人 死亡 20人
 転入 24人 転出 32人

お誕生おめでとう

7月21日から8月20日届出分 敬称略

名前 保護者 自治会

個人情報のため非公開

お悔やみ申し上げます

7月21日から8月20日届出分 敬称略

名前 年齢 自治会

個人情報のため非公開

佐用チャンネル
放送更新日
 9月10日(金)
 24日(金)

ちょうみんカレンダー

9月上旬～10月上旬

月日	曜日	内容	場所	時間
9/8	水	福祉相談	三日月福祉拠点施設	13:30～16:00
9	木	高年大学南光教室	南光文化センター	10:30～
		高年大学上月教室	上月文化会館	10:00～
15	水	行政相談	佐用町保健センター	13:00～15:00
			上月支所	
			南光文化センター	
			三日月支所	9:00～11:00
16	木	高年大学佐用教室	さよう文化情報センター	10:00～
18～20	土～祝	佐用町敬老会	16頁をご覧ください。	
19	日	復興支援コンサート		
21	火	高年大学三日月教室	三日月文化センター	10:00～
10/2	土	ファミリーセミナー	18頁をご覧ください。	



今月の納税など

今月の納税相談日

9月24日(金)

■受付時間

午前8時30分～午後5時

■受付場所 役場本庁税務課

災害・盗難・疾病・失業や
廃業などで納期限までに町税
が納められない場合は、納税
相談に応じます。

問 税務課収納管理室

☎ 82-0662

●国保税(普通徴収)第3期分

●介護保険料(普通徴収)第3期分

●後期高齢者医療制度
(普通徴収)第3期分

納期限 **9月30日(木)**

口座振替日は9月30日(木)です

納税は納期限までに!

問 住民課年金・保険室

☎ 82-0660

交通安全協会会員 入院見舞金制度

8月1日以降に佐用交通安
全協会の会員になられたかた
を対象に、事故による入院見
舞金が新設されました。主な
内容は次のとおりです。

- 本人が運転中の事故に限る
- シートベルト、ヘルメットの着用が前提
- 30日以上入院に限る

■見舞金額は30,000円です。
くわしくは下記までお問い
合わせください。

問 佐用交通安全協会

☎ 82-0533

住宅用火災警報器 設置はお済みですか

住宅用火災警報器は、新築
の住宅は平成18年6月から
設置が義務化され、既存の住
宅は平成23年6月から、す
べての地域の住宅に義務化が
適用されます。

「まだ期間がある」と安心
しないで、できるだけ早い設
置をお願いします。

問 消防署 ☎ 82-3874

行政相談所の開設

10月18日(月)～24日
(日)は行政相談週間です。
この期間に合わせて次の日程
で行政相談所を開設します。
行政相談員が行政に対するご
意見、ご要望にお答えいたし
ますので、お気軽にご相談く
ださい。

■開催日 10月20日(水)

■場所と時間

佐用町保健センター

午前9時～午前11時

南光支所 午後1時～午後3時

問 総務課総務人事室

☎ 82-2549

自衛隊員募集

■対象者

防衛大学校(一般)・・・高卒
(見込含)21歳未満のかた
防衛医科大学校・・・高卒(見

込含)21歳未満のかた
看護学生・・・高卒(見込含)
18歳以上24歳未満のかた
自衛官候補生(男性)・・・18
歳以上27歳未満のかた

■受付期間

防衛大学校(一般)・防衛医
科大学校・看護学生

9月6日(月)～10月1日(金)
自衛官候補生(男性)

年間通じて受付

■試験日

防衛大学校(一般)・・・11月
6日(土)～7日(日)

防衛医科大学校・・・10月30
日(土)～31日(日)

看護学生・・・10月23日(土)
自衛官候補生(男性)・・・受
付時にお知らせします。

問 自衛隊相生募集事務所

☎ 0791(23)2750

手話ボランティア養成講座 受講生募集

■日時 9月27日(月)・
10月4日(月)・13日(水)・
18日(月)・25日(月)・
11月1日(月)・8日(月)・
15日(月)・22日(月)・
29日(月)。

※全10回コース。いずれ
も午後1時30分～午後
4時

■会場 兵庫県龍野庁舎第4会議室

■講座内容

【実技】表現技術、読み取
り技術、模擬通訳など

【講義】「聴覚障がい者と手
話通訳派遣制度」

■実技講師 (社)兵庫県聴覚
障がい者協会認定手話通訳者

■講義講師 兵庫県聴覚障が
い者協会



宝蔵寺地区 ②



漆野・段地区 ③



西下野地区 ⑦



米田地区 ①

大輪150万本が励まし

町内各地の「復興のひまわり」



林崎地区 ⑥



東徳久地区 ④



漆野・本村地区 ⑤

①咲き乱れるひまわりの中で②ひまわり畑の脇を走るJR姫新線③高さ2.5mにもなったロシアひまわり④一面のひまわり畑を散策する観光客の皆さん⑤水書をはねのけ元気に咲く「はるかひまわり」⑥12月に挙式を控え、姫路市から記念撮影に訪れた池上達也さんと亜弥さん。ひまわり畑でデートを重ね「いつかここで記念撮影をしようね」と約束していたお二人。おめでとうございます。お幸せに!! ⑦ひまわりといっしょに記念撮影「ハイ、チーズ」

全国から8万人が来場

佐用町南光ひまわり祭り

7月17日から8月1日まで、南光スポーツ公園周辺で佐用町南光ひまわり祭りが開催されました。今年は例年以上の観光客でにぎわいました。また最終日の8月1日には恒例の花火大会も行われ、祭りのフィナーレを飾りました。



①



②



③



④

①おもしろ自転車を楽しむ子どもたち②物産コーナーで買い物をする人たち③JR姫新線の利用促進をPRするミニSL④太陽を見ることができる「おひさま観望会」のようす